

写

2 消安第3861号
令和2年12月1日

都道府県畜産主務部長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

高病原性鳥インフルエンザの発生予防対策の強化及び徹底について

日頃より、家畜衛生の推進に御理解・御協力いただき誠にありがとうございます。

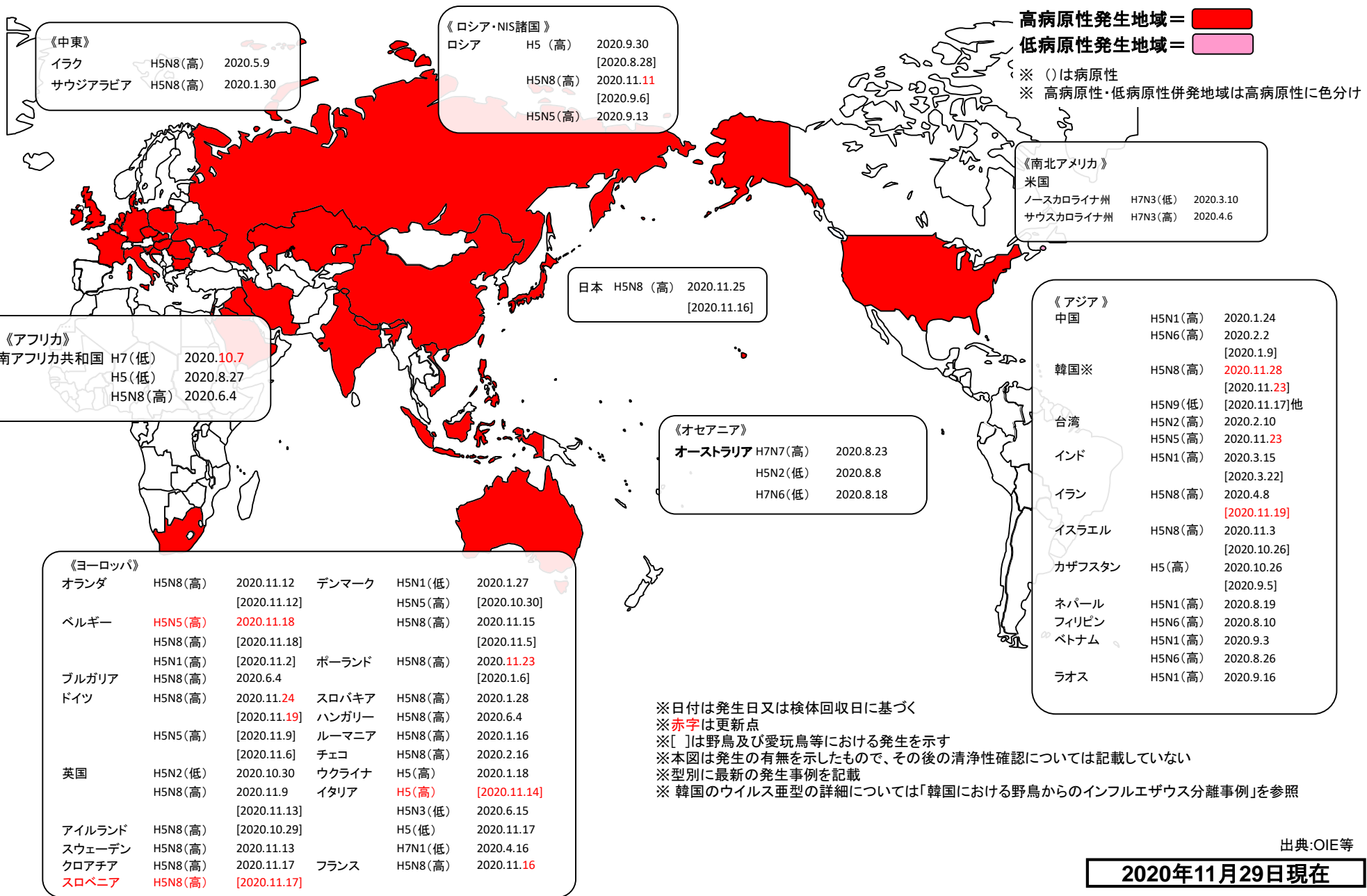
高病原性鳥インフルエンザ（以下「本病」という。）の発生状況について、今シーズンは海外において、ロシアを始めヨーロッパ各国で家きんでの本病（H5N8、H5N5亜型等）が発生しており、今般韓国においても家きんでの本病（H5N8亜型）の発生が確認されたところです（別添1及び2参照）。

国内においても、本日新たに宮崎県において、国内11例目となる本病の疑似患畜が確認されました。また、北海道、鹿児島県及び新潟県において、環境試料（水）や野鳥の糞便から、H5N8亜型ウイルスが分離されたところです（別添3参照）。

本病の防疫対策については、「高病原性鳥インフルエンザの発生予防対策の強化及び徹底について」（令和2年11月19日付け2消安第3664号農林水産省消費・安全局動物衛生課長通知）により、家きん飼養農場に対し、発生予防対策に関する情報提供及び指導等を実施していただくようお願いしているところですが、引き続き、地域や関係団体とも連携の上、①早期発見・早期通報の再徹底、②家きん飼養農場の防鳥ネットの確認及び人・車両の出入りの厳重管理、③農場周辺の消石灰散布などの消毒の徹底等による農場へのウイルス侵入防止の徹底について、地域の協議会の活用、直接訪問、飼養衛生管理者メーリングリストの活用等の方法により、指導又は助言を実施するようお願いいたします。

以上

高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況(2020年以降)



出典:OIE等

2020年11月29日現在

韓国の家きんにおける高病原性鳥インフルエンザの状況 (2020年1月以降)



家きんでの発生: 1件		
内訳:	あひる	1件

	戸	羽数(約)
発生農場	1	19000
予防的殺処分	6	392000
合計	7	411000

全羅北道				
発生日	発生地区		亜型	家きんの種類
11.27	全羅北道	井邑市	H5N8	あひる

2020年11月30日現在
農林水産省動物衛生課

出典: 韓国農林畜産食品部

●: 発生地点
※発生日は症状の発現日又は検体の採取日

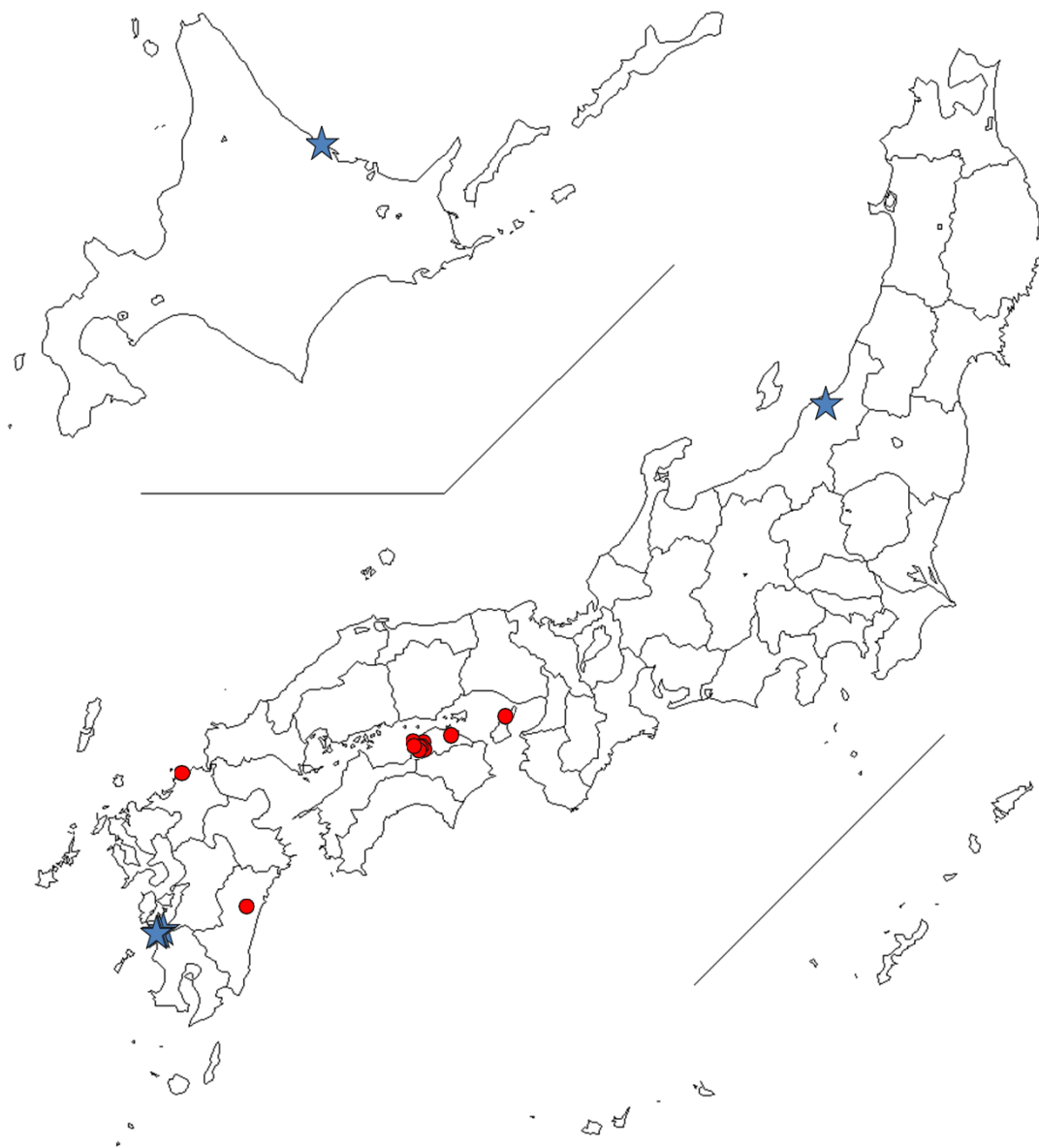
令和2年度 国内における高病原性鳥インフルエンザ発生状況

(令和2年12月1日時点)

家きん 4県11事例

事例	都道府県	市町村	疑似患畜判定日	飼養状況	病原性	亜型
1	香川県	三豊市	R2.11.5	採卵鶏約31.7万羽	高	H5N8
2	香川県	東かがわ市	R2.11.8	採卵鶏約4.6万羽	高	H5N8
3	香川県	三豊市	R2.11.11	肉用種鶏約1.1万羽	高	H5N8
4	香川県	三豊市	R2.11.13	肉用種鶏約1万羽	高	H5N8
5	香川県	三豊市	R2.11.15	採卵鶏約7.7万羽	高	H5N8
6	香川県	三豊市	R2.11.20	採卵鶏約15.4万羽	高	H5N8
6関連	香川県	三豊市	R2.11.20	採卵鶏約11.7万羽	-	-
6関連	香川県	三豊市	R2.11.20	採卵鶏約2万羽	-	-
6関連	香川県	三豊市	R2.11.20	肉用鶏約5.7万羽	-	-
6関連	香川県	三豊市	R2.11.20	肉用鶏約1.7万羽	-	-
7	香川県	三豊市	R2.11.20	採卵鶏約43.9万羽	高	H5N8
8	香川県	三豊市	R2.11.21	採卵鶏約7.5万羽	高	H5N8
9	福岡県	宗像市	R2.11.25	肉用鶏約9.4万羽	高	H5N8
10	兵庫県	淡路市	R2.11.25	採卵鶏約14.6万羽	高	H5N8
11	宮崎県	日向市	R2.12.1	肉用鶏約4万羽	検査中	H5

● 家きん
★ 野鳥等



野鳥 3道県7事例

都道府県	市町村	検体回収日	検体	病原性	亜型
北海道	紋別市	R2.10.24	糞便	高	H5N8
鹿児島県	出水市	R2.11.9	環境試料(水)	高	H5N8
鹿児島県	出水市	R2.11.5	糞便	高	H5N8
鹿児島県	出水市	R2.11.16	環境試料(水)	高	H5N8
新潟県	阿賀野市	R2.11.16	環境試料(水)	高	H5N8
鹿児島県	出水市	R2.11.23	環境試料(水)	高	H5N8
新潟県	阿賀野市	R2.11.16	糞便	高	H5N8